



TOHOKU
UNIVERSITY

SCHOOL of LAW 2024

学部案内

東北大学 法学部

世界を知る。
未来を考える。

伝統を大切にしつつ
 激動する世界に対応する教育改革で
 よりよい社会の実現に寄与する
 人材を養成する

東北大学法学部の前身である東北帝国大学法文学部が設置されたのは大正11年(1922年)、戦後、東北帝国大学が東北大学となり、昭和24年(1949年)に法文学部が法学部・経済学部・文学部に分かれました。昨年は前身から数えれば100周年、東北大学115周年にもあたり、全学的な行事・式典が行われました。法学部においても様々な記念事業を実施しましたが、メイン企画とも言える「卒業生インタビュー」では、法曹界や政財界、メディアで活躍する方々に、じっくりとお話しを聞く機会を持つことができました。年齢や性別も考慮しつつ十二人に絞ってお願いしましたが、人選を進める中で立派な卒業生が多いことを改めて認識しました。実際のインタビューでは、生い立ちから学生時代の過ごし方、各界でのキャリアや転機など、後輩学生にとっても進路や人生の指針となるような興味深い内容も多く、取材と執筆を担当した在学生や記事を読んだ法学部生の中から、十年後、二十年後にインタビューを受ける側となる者が出ることを願っています。(インタビュー記事の内容や周年事業の全体については、大学および法学部の記念ウェブサイトを是非ご覧ください。)

そうした多くの優れた人材を社会に輩出することを可能としたのは、「研究第一主義」を掲げる東北大学を構成する一学部の教員として、法学・政治学の研究に打ち込み、その成果を学生への教育に連動させて注ぎ込んできた研究者と、向学心・向上心に富み社会貢献の意欲に満ちた学生との相互作用にあったと思います。特に、教員と学生が相互に意見を述べあい、納得のいくまで議論を続けることのできる演習(ゼミ)は、少人数教育を特徴としてきた法学部の重要な授業科目です。東北大学法学部は、基本的に、自由選択制をとっており、ゼミの履修や卒業論文の提出を卒業要件としてないので、大講義室における授業を履修して単位を修得すれば、卒業することは可能です。しかし、多くの学生は、ゼミに参加し、当該分野の第一人者であるベテラン教員や新進気鋭の研究者である若手教員と濃密な議論を重ねることによって、論理的に思考する力や、自分自身の考えや意見を相手に説得的に伝える力を涵養することに努めてきました。

また、東北大学の尊重する「門戸開放」の理念や「実学尊重」の精神にも基づき、法曹界や官界などから多くの実務家教員も招いており、法学や政治学に関する理論的知識の習得だけでなく、社会人として備えていることが期待される論理的思考力・コミュニケーション能力を伸ばさせる教育も行われてきました。そうした点も、「法学・政治学に関する正確な基礎知識を身につけ、鋭い正義感覚と幅広い視野から社会に伏在する諸問題を発見・分析し、その解決に努めることを通じて、より良き社会の実現に貢献する人材(法政ジェネラリスト)の養成を行う」という東北大学法学部の教育目的にプラスに作用してきたものと自負しております。

東北大学法学部は、上記のような伝統的な人材養成教育に加え、社会のグローバル化や法曹養成制度の改革といった現代的問題に対応する教育改革も行っており、前者との関係で国際コースを、後者との関係で法曹コースを設けました(その詳細は本パンフレットの関連項目をご覧ください)。これは国際的な活動に従事したいという学生や法曹になりたいという学生に対して、よりの確な教育を提供しようとするもので、従来の伝統的なカリキュラムを拡充し、教育の充実を図るものです。

ロシアのウクライナ侵攻から一年余り、民主主義陣営と権威主義陣営の対立は深まり、国際情勢は不透明感を増す一方です。さらに、昨年末から顕著となった生成系AIの急速な発展は、社会のあり方を根本から変化させるかもしれません。それに伴って、格差社会の一層の拡大も懸念されるところです。東北大学法学部では、そうした現代社会が直面する諸課題に対して法的・政治的観点から研究成果の発信と、その解決に寄与する人材を育成することに引き続き努めていきます。

2023年4月1日



東北大学大学院
 法学研究科長・法学部長

戸澤 英典

Contents

法学部長あいさつ	2	教員インタビュー	10
教育理念	3	東北大学法学部のカリキュラム	12
学生インタビュー	4	入試情報	14
OB・OG インタビュー	6	ウェブサイトガイド	16
卒業生の進路	9		



東北大学法学部の「教育理念」及び「教育目標」

東北大学法学部では、法学・政治学に関する正確な基礎知識を身につけ、鋭い正義感覚と幅広い視野から社会に伏在する諸問題を発見・分析し、その解決に努めることをもって、良き社会の実現に貢献する人材、すなわち「法政ジェネラリスト」の養成を行うことを教育目的としています。

ディプロマ・ポリシー

東北大学法学部では、次に掲げる教育目的に従い、全学教育科目の単位を39単位以上及び専門教育科目の単位を90単位以上(うち私法・公法科目2単位以上、基礎法科目2単位以上及び政治学科目2単位以上)を修得した学生について、学士の学位を授与する。

1

教養ある国際市民としての素養を備え、法学・政治学の正確な基礎的知識を修得し、鋭い正義感と幅広い視野に基づき、社会に生起する問題を発見かつ分析し、利害の衝突を未然に防止し、あるいは紛争を解決することにより良き社会の実現に貢献する人材(法政ジェネラリスト)を養成する。

2

法学・政治学における学術研究または高度専門職(法政スペシャリスト)となるために共通の前提となる基礎的知識・素養と幅広い見識を有する人材を涵養する。

3

グローバル社会において、指導的・中核的役割を果たす自覚と展望を持ち、その基となる国際的視野とコミュニケーション能力を有する人材を輩出する。



カリキュラム・ポリシー

東北大学法学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げた教育目的の実現を目指して、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施する。

1

学部開講の授業科目を内容に即して「基礎講義」・「基幹講義」・「展開講義」の категорияに分け、段階的に配置することによって法学・政治学の基礎的な内容を無理なく体系的に修得させる。

2

段階的に配置された講義科目と併行して、1年次から4年次までの学部4年間全般にわたって、「基礎」・「基幹」・「展開」の各講義をフォローアップするため、少人数で開かれる「演習」を多数開講する。

3

成績評価は、講義の場合は定期試験を中心に小テスト・受講態度・課題への取り組み等を総合して評価し、演習の場合は出席、発言の回数や質、課題への取り組み等を総合して評価する方法を原則とする。

1

「基礎講義」とは、1・2年次生を対象に、法や政治の歴史的・思想的・社会的背景を学ぶことを目的とするもので、全学教育と連携しながら幅広い教養と視野を備えた人間の養成を図るものである。

2

「基幹科目」とは、1年次後半から2・3年次にかけて、「基礎講義」の履修を前提として、法学・政治学の根幹をなす主要科目の修得を図るものである。

3

「展開講義」とは、3・4年次において、法学・政治学について、より深い理解とさらに豊かな知見との修得を図るものである。

留学で視野を広げ
世界に向けてはばたく!



現役学生から

Message

望月 響

もちつき ひびき

2年生

出身 大阪府茨木市

趣味 料理、旅行、サブカルチャー

留学制度が整う 東北大学法学部を志望

浪人時代にお世話になった塾の先生から聞いた海外旅行の話や「世界を見た方がいい」という言葉に影響され、海外に興味を持つようになりました。留学や国際交流に力を入れている大学を調べると、東北大学法学部は留学制度や奨学金制度が整っており、また素晴らしい教授陣の授業も受けられると知り、第一志望として目指しました。

入学後は国際コースで国際関係論や国際法を中心に履修し、また「倶楽部国際法」という自主ゼミで学んでいます。特に演習の授業は教授の方々と関わることができ、学ぶことも多く有意義な時間を過ごせていると感じています。

肌で感じる 国際情勢や社会の仕組み

交換留学制度を利用し、スウェーデンの大学に約半年間の予定で留学しています。留学には想像以上に多くの準備が必要でしたが、留学生課からサポートいただき進めることができました。スウェーデンを希望したのは、英語の授業が数多く開講されていること、充実した社会保障制度に興味があったこと、そして不安定な世界情勢の影響を実感したかったことが理由です。実際にスウェーデンで生活してみると、公用語はスウェーデン語ですがほとんどの人が英語も堪能なため外国人も生活がしやすく、一方では社会保障制度を支えるために税金が高いことも分かり、



毎日が驚きと発見の連続です。

留学先の大学では、主に国際政治について学んでいます。また、スウェーデンは女性や子どもの権利も守られていることから、ジェンダーや難民問題についても学ぶ予定です。

将来を見据えて 今、できることを

法学部では幅広い分野の授業を履修でき、多くの人が活躍できる場が用意されています。大学に入学することをゴールにするのではなく、早いうちから自分の得意なことと不得意なことを把握し、将来に向けて動くことが大切だと思います。

私には、国際的な仕事がしたい、そして何かを作り出すような仕事がしたいという夢があります。留学での経験を通して、自分が興味のあることや可能性をより掘り起こし、未来につなげていきたいと思っています。

幅広い科目を受講する中で 興味を持った法曹コースへ



現役学生から

藤田 和郁見

ふじた わふみ

4年生

出身 愛知県名古屋市
趣味 旅行

Message



さまざまな科目から 選べるのが魅力

もともとは政治や公共政策に興味があり、法学部に入学しました。東北大学法学部は学科が分かれていないため、幅広い科目から興味のあるものを選択して受講することができます。私も法律の授業を受講するうちに法律を学ぶことに楽しさを感じ、2年生から法曹コースに登録しました。今は法律の科目すべてが楽しいです。法律は人間が歴史の中で、秩序だった生活をしようとした工夫の塊であり、その中に人間の価値観が垣間見えるのが面白いと感じています。

高校では受験に向けて覚える勉強が多かったのですが、法学部では先

生に質問すると一緒に考えてくれたり、先生が研究を通して考えていることを教えていただいたりと、先生方のすばらしさも感じています。

サークル活動が 心地良い居場所に

私は現在、楽焼工芸同好会という陶芸のサークルに所属しています。2年生のときにはサークル長としても活動をしていました。キャンパス内には陶芸用の窯もあり、ろくろや手びねりなどで器を制作しています。陶芸という同じ趣味を持った仲間たちなので、話が合う仲間がたくさんできました。勉強中に疲れたときにも、部室にいくと誰かがいるので、おしゃべりをして気分転換をしています。コロナ禍で活動を制限されることもありました。とても心地良い場所となっています。

将来を見据えながら 法律を学ぶ

法曹コースで学ぶうちに、ロースクールに進学して法曹を目指してみたいという気持ちと同時に、先生方と話すな

かで研究職に就いてもっと本格的に勉強をしてみたいと思う気持ちも芽生えてきました。これから残りの大学生活の中で、自分に合う道を探していきたいと思います。

正直に言えば、高校生の時には法律をしっかり学んでいこうという思いはありませんでしたが、学ぶうちにその魅力や楽しさに気付きました。まだ自分の興味があることが決まっていなくても、東北大学法学部ならさまざまな科目から選んで受講できるので、学びながら興味があることをより深めることができると思います。少しでも法律や社会に興味がある方は、法学部を目指してみたいかでしょうか。

早期卒業制度を利用しながら 将来の可能性を模索中



飴山 翔太

あめやま しょうた

東北大学
法科大学院 3年生

出身 石川県小松市
趣味 野球

部活動に励んだ高校時代から 法学部の道へ

中学・高校と野球部に所属し、大学に入学してからも軟式野球部で汗を流しました。高校時代の進路選択においては、社会系の科目に興味があったことから文学部に進学し社会の教員になって野球部の指導に携わろうかとも考えましたが、法学部で学び弁護士になった姉の影響もあり法学部進学を決めました。といっても、部活をし、友人と話すために高校に通っているような学生だったので、成績は良好とはいえず、受験期も成績がなかなか伸びず苦労しましたが、運よくAOⅢ期で合格することができました。

法学が持つ 奥深い面白さに触れる

さて、東北大学法学部に入学できたわけですが、1年次は部活・サークル活動に傾きがちで、あまり勉強熱心ではありませんでした。しかし、コロナ禍で「おうち時間」をどう過ごすか考えていた時に、このままでは何もせずに大学生活が終わってしまうと感じ、机に向かう時間が増えました。その後は、民法、憲法、刑法、刑事訴訟法などの演習に参加し、法学の面白さ、奥深さの一端を垣間見ることができたように思います。

社会はたくさんの「人」によって構成されています。そしてときには各々の利益が衝突する場合があります。では、衝突を防ぐために各々の利益の「交通整理」をどう行うのか、また、衝突してしまった場合はどうするのか、これらを考えるのが法を対象とする学問である法学の持つ一つの役割であり、難しくもあり面白いところだと感じています。

早期卒業制度で 法科大学院に進学

法曹コースには早期卒業制度があ

り、要件を満たせば3年で学部を卒業して法科大学院に進学することができます。私は、勉強に力を入れはじめた2年前期に成績が向上したことでこの制度を利用しようかと考えだしました。職業については法曹になり法律実務に携わっていこうかと考えてはいますが、学習を進めていくなかで、研究者の道にも魅力を感じているところで、この点は今後じっくりと考えていきたいと思っています。

東北大学法学部には、高い志をもった友と切磋琢磨できる環境が整っていると感じています。また、学生と教員の距離も近く、私自身、先生方には学習のことや進路のことについて親身に相談に乗っていただきました。社会の仕組みや法・政治といったものに興味・関心がある方には東北大学法学部の門を叩いてほしいと思います。東北大学法学部には自ら学びを欲すれば、そのためのあらゆるものが揃っています。

復興の一助となることを目指し

地方公務員の道へ



さまざまな道が開かれた 法学部で学びを深める

私が法学部を目指したのは、銀行員や公務員として就職したり、またロースクールに進んだり、将来に向けてさまざまな道が開かれていると考えたからです。東北大学法学部は緑豊かな自然が周辺にありながら市街地にもほど近く、恵まれた環境で学ぶことができました。さまざまな教科から幅広く学ぶことができ、また一学年あたりの人数も他の学部比べて少ないため先生方との距離が近く、疑問をすぐに質問できるのもよかったですね。

県民のために 貢献できることがやりがい

大学2年生のときに東日本大震災が発生しました。それまでは具体的な進路を考えていなかったのですが、復興の一助になりたいと思い、住民との距離が近い地方公務員を目指しました。大学の生協で開催している公務員講座を受講したのですが、同じく公務員

を目指す仲間と励まし合って試験に向けて勉強したのは良い思い出です。公務員講座で面接指導をしていただいたのもありがたかったです。

また、裁判劇を通して市民の方に法律と社会の関わりを知っていただく「模擬裁判実行委員会」という自主ゼミにも所属しており、チケットの販売やシナリオの制作、演技や演技指導も学生が主体となって取り組みました。学年を越えた交流も深めることができるので、法学部を目指す皆さんには是非、自主ゼミに所属することをおすすめします。

幅広い分野で 県民の暮らしに貢献

私は現在、保健福祉部に所属し、病院の連携に関する調整業務に携わっています。これまでに総務部や土木部、企画部に所属していました。どの業務も法律に触れる場面が多く、法学部での講義を通して身に付いた法律の解釈の仕方や読み方が役立っていると感じています。これからは中堅職員として、部下の指導や上司のサポートを任される立場になります。より幅広

蛭沢 夏生菜

えびさわ なおな

宮城県保健福祉部医療政策課

【経歴】

- 2013年3月 東北大学法学部卒業
- 2013年4月 宮城県総務部職員厚生課
- 2016年4月 宮城県土木部仙台土木事務所
- 2019年4月 宮城県企画部オリンピック・パラリンピック大会推進課
- 2022年4月 宮城県保健福祉部医療政策課

い視野を持って、業務に携わっていきたいと思います。

高校生の皆さんには、進路を決める上で積極的に情報収集をして、目標を見つけてほしいと思います。そうすることでより将来に向けて学びを深められますし、同じ志を持つ仲間に出会えると思います。私も、自主ゼミで出会った仲間とは今も連絡をとっていて、大学生活での大きな財産です。

愛着ある東北・新潟に

貢献できる仕事を

Message

狩谷 幸子

かりや さちこ

東北電力株式会社新潟支店
企画管理部門総務広報グループ

【経歴】

2020年3月 東北大学法学部卒業

2020年4月 東北電力株式会社入社

生活に密接に関わる
法律について学びたい

新聞記者に憧れて日々のニュースをチェックしていると、法律に関わるものが結構多くありました。法律を学べば、世の中のことがより分かるかな? と思い法学部を志望しました。東北大学を選んだのは、少人数のカリキュラムがあっ



たり、法律相談や模擬裁判等の自主ゼミがあったりと、ここでなら、固く難しそうなの法律も、本当は多くの人の生活に関わる「生きた学び」であると実感できそうだなと思ったからです。入学後は仲間にも恵まれ、勉強を教えてもらうなど良い刺激をもらいました。授業の選択肢も多く、西洋政治思想史や知的財産法など、自分の興味に応じて自由に授業を組むことができました。

東北・新潟を盛り上げる
やりがいのある仕事

現在は地元の新潟支店に配属となり、広報業務を担当しています。小中学生向けに発電の仕組みやエネルギーと地球環境の関わりなどを教える「エネルギー出前講座」や、「ミニバスケットボール大会」、「中学生作文コンクール」といったイベントを担当しています。児童・生徒の皆さんや先生方から、「面白かった」「このような機会を頂けて良かった」と感想を頂くとうれやいを感じます。また、世界文化遺産登録が期待される「佐渡島の金山」に関する動画を制作するなどSNSを使って新潟を盛り上

げる発信をしたり、主に社内の新入社員・若手社員向けに、電気事業の基礎知識をまとめた素材を制作したりしています。各方面への細かな調整が必要になるため、相手に失礼にならず、かつ誤解がないようにこちらの意図を伝えるのが難しく、試行錯誤しています。困ったときは、上司・先輩方が快くサポートして下さるので、とても感謝しています。

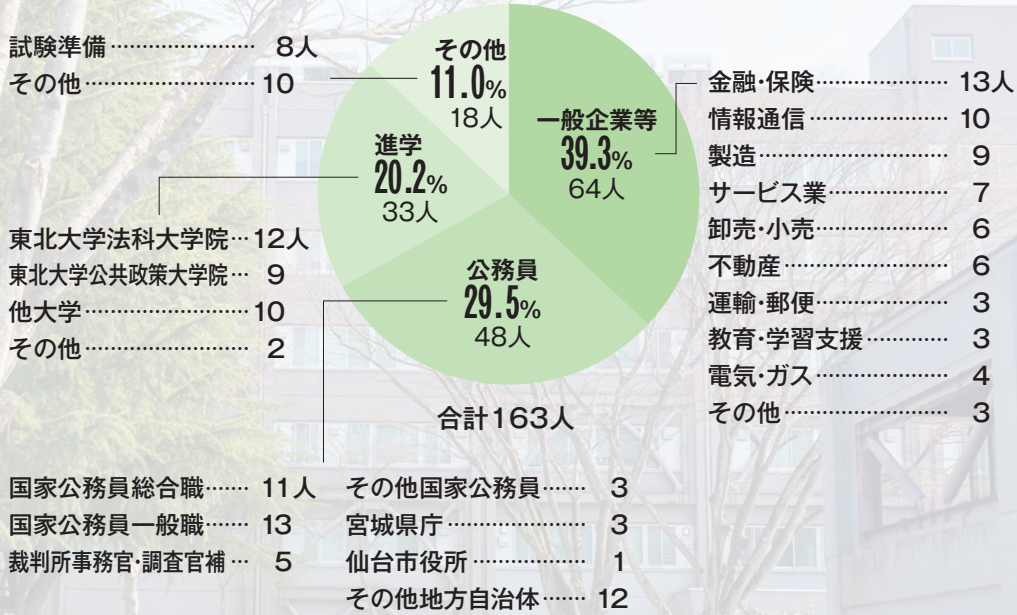
法学部で培った
論理的な思考が役立つ

就職活動では、インターンシップでの経験を通してさまざまなことに挑戦できると感じた民間企業に絞りました。東北電力に入社したのも、地元・新潟や大学進学でお世話になった仙台、仲間がいる東北に貢献できると思ったからです。現在の仕事で直接法律を使うことはあまりありませんが、法学部で学んだ、「文章を読む力、色々な状況を想像する力、言葉や文字で伝える力」はとても役立っています。これからも東北・新潟を盛り上げられるよう、法学部で学んだ力を大切にしながら、誠実に楽しく仕事をしていきたいです。

卒業生の進路

令和4年度

進路先状況



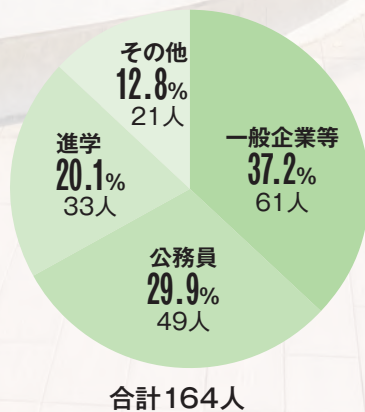
主な就職先

【一般企業等】みずほ証券、野村証券、三井住友銀行、日本生命保険相互会社、株式会社博報堂、東日本放送、楽天グループ株式会社、JFEスチール株式会社、ソニーグループ株式会社、川崎重工業、住友不動産販売、株式会社オープンハウスグループ、三井物産株式会社、丸紅株式会社、東京電力ホールディングス株式会社、東北電力株式会社、東日本高速道路株式会社など

【公務員】文部科学省、総務省、防衛省、仙台地方検察庁、仙台国税局、東京都庁、宮城県庁、仙台市役所、名古屋高裁、仙台家庭裁判所など

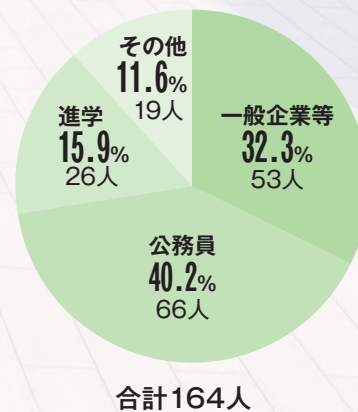
令和3年度

進路先状況



令和2年度

進路先状況





深く考える力を身に付ける
法理学を通して

法理学とはどんな学問か

法理学とは、法の一般理論、正義論、法律学方法論からなる、基本的には法のメカニズムを明らかにする学問です。例えば、近年東京電力福島第一原子力発電所事故の裁判が社会的に大きな注目を集めました。特に多くの被害者の方がいらっしゃる状況で法が社会的にどのような役割を果たしているのか、どんな問題点があるのかなど法の役割や機能を考えるのが法の一般理論です。また、その原発事故の影響で起こった様々な事件を、法的にどのように分析するのか示すのが法律学方法論であり、法律家として基礎となる分野になります。正義論では、「法が成立する可能性の条件」について研究しています。

難しい研究への挑戦

特に、法と時間の関係について研究することに非常に面白さを感じています。例えば、一般的にルールは未来に向かって設定されていますが、この時間を見直すとしています。未来というのはいまだなく過去もすでにない、そう考えると実際に時間があるのは今であり、今は永遠という構造を持っていると考えられます。すると、永遠がルールの基礎になると考えられるのではないかとこのことを研究しています。専門家しか分からない非常に難しい問題に取り組んでいるという感覚があり、この学問の魅力につながっていると思います。

法理学を通して学んでほしいこと

皆さんにとって法理学はあまり馴染みがなく、将来的にも仕事に直結する学問ではないかもしれませんが、私は学生たちに「役に立つか、立たないかという基準でものを見ないでほしい」と伝えています。もし、今の生活が一変するような事態に陥ったとき、役に立つのは本当に深く考えて行動に移す力です。学生たちには法理学を通してその力を養ってほしいと思います。法学部には真面目で賢い学生が多いと感じていますが、自分の殻を破って、大きなスケールで考えるのもいいと思います。法という社会のルールは歴史的に形成されるものでさまざまな要因が関わっており、経済学や歴史学の研究も必要になります。広い視野を持って、堅実さとさまざまな問題を突破できる力を持った人になってほしいと思います。



樺島 博志 教授
かばしま ひろし
専門分野 / 法理学

教員から

Message

正解のない問題を考え続ける面白さ

民事訴訟法は、民事の事件に対して主に裁判や執行の手続、その前提となる保全の手続などを扱う法律です。2020年には民事執行法が改正され、子どもの引渡しに関する手続が新たに定められたため、最近はそのらの研究も進めています。

民法・刑法と比べ、民事訴訟法は学生にとってイメージしづらい科目かもしれません。しかし、手続と一言でいっても幅広い分野があり、他の法律にないような概念や学説、判例があります。手続上でも、法律を機械的に適用するわけではなく、ケースによってさまざまな概念が入ってくることもあります。人々の争いの中でバランスを考えることは正解がなく、どこまでも終わりがなく、面白さであり、面白いところだと思います。

指導教官の影響で研究者の道へ

私は学生時代、周りの影響でロースクールに進学し、民事訴訟法のゼミに入ったことが現職につながっています。ロースクールは基本的には実務家を目指す方が進学しますが、指導教官から研究者の道もあることを教えていただきました。一つのことを突き詰めて考えるのも面白いと思って研究者の道に進みましたが、今となっては自分に合っていたと思います。

授業では、学生時代のことを思い出し、自分も分かりづらかった部分は丁寧に伝えるようにするなど、学生に寄り添う対応をしたいと心掛けています。

法律を学ぶことで理論的な考え方が身に付く

東北大学法学部の学生は、とてもまじめに勉強に取り組んでいて、私もとても感心しています。コロナ禍でのオンライン授業にもすぐに対応していましたし、対面授業と比べてメールやインターネット上のほうが気軽に質問できていたのではないかと思います。

法学部では、法律を勉強することを通じて、理論的な考え方が身に付くと思います。今はスマホやパソコンで文字を打つことが多く、紙に字を書いたり、本を読んだりすることが少なくなってきていると思いますが、法律を扱う仕事に就くかどうかにかかわらず、どの分野でも文字を読んで理解し、自分の言葉にする力は必要になってくるので、法学部を目指す皆さんにも文字を読み書きする力を養ってほしいと思います。

学生に
寄り添った授業を心掛ける



今津 綾子 准教授
いまづ あやこ
専門分野 / 民事訴訟法

過去を自分事として捉える

私が担当している「日本政治外交史」とは、明治維新から戦後の改革を経て現代にいたるまでの日本の政治と外交がどのように展開されてきたのか、それらの経緯や特徴を歴史的に分析する学問です。例えば、日本という国家がどのように形成されてきたのか、そしてどういう特徴があるのかを、社会の動きや要因を抽出して分析する手法を身に付けられる講義を行っています。

このような過去の話は、遠い出来事のように思うかもしれませんが、しかし、当時の資料を内面的に読み、自分が同時代に生きていたらどのような選択をしたであろうかと考えると、身近で等身大の出来事に感じられるのではないでしょうか。膨大な資料を読み解き、バランスよく議論を組み立てるのは難しさもありますが、大きな魅力でもあります。政治や行政、そして法律の世界へ旅立つ法学部の学生たちには、これらの分析を通して実際の現場における判断の参考にしてほしいと思います。

学生同士が助け合う環境

東北大学には東北6県を中心に全国から学生が集まるため、地元を離れて暮らす人々が多く、慣れない生活を送る後輩を先輩がサポートするネットワークがあります。私は東北大学が最初の赴任校でしたが、新米教師の私を当時の学生たちが助けてくれたことは良い思い出であり、今でも彼らとは交流があります。法学部の学生は真面目で心が温かい学生が多く、この4年間でぐんぐん成長していくのを目の当たりにするのは感慨深いですし、私も彼らとともに大いに勉強させてもらっています。

好きなことを突き詰めると道が開ける

法学部はとても優秀な学生が多く、難しい法律学や政治学をしっかりと学んでいます。その根底には、より良い社会を目指そうとする正義感があると感じています。それぞれの価値観から社会の在り方について議論し、考えることで成長につながると思います。

私は大学で学んだ日本政治外交史が面白く、もっと知りたい、もっと勉強してみたいという思いから研究者になりました。自分が好きなことを突き詰めると、次の分野につながったり、大切な友人や先生と出会えたりして、新たな道が開けると感じます。東北大学法学部は魅力的な教職員や学生たちが集まっていて、交流しながら成長できる場です。ぜひ一緒に学びましょう。

”過去”を学び、
”今”を生きる力に変える



伏見 岳人 教授

ふしみ たけと

専門分野 / 日本政治外交史

教員から

Message

知的好奇心を刺激する
法律の世界へ

より深く学ぶことで知的好奇心を刺激される

労働法とは特に立場が弱いとされる労働者のための法律をまとめた法分野で、その中でも労働者が集団となってより良い労働条件を使用者と交渉する労働組合法を中心に研究しています。

日本は歴史的に使用者側が強く、労働者側が良い条件を勝ち取っていくのが難しい現実があります。どこまで法律で保護して、どこまで交渉に委ねるかを個別に考える必要がありますが、集団の自治という理念を押し通すだけでなく、労働者自身が勝ち取っていくべき権利の調整を図っていくことが魅力だと思います。

海外と比較して考える日本の労働法

2年間ドイツに留学しましたが、暗黙の前提や社会的な実態を踏まえて制度ができていたり、現地の人の考え方や、本を読むだけでは分からないことを学ぶことができました。留学の経験は私にとって大きいものでしたね。

日本は海外の影響を受けて法が作られたという経緯があり、海外の動向との比較法で研究されることがほとんどです。しかし、すぐに海外と同じようにやるべきと考えるのではなく、社会の実態を踏まえた上で法律を考えていかないと、本当の労働者の保護にはなりません。日本として独自の道を歩んでいくための答えはひとつではなく、それを考えていくのはとても興味深いと思います。

曖昧だから面白い学問としての魅力

労働法は身近に感じやすい分野だと思いますが、できるだけ具体例を出して対処法を考えるなど、学生がイメージしやすいように工夫しています。学生に対して、どんなことに疑問を持っているのか、何に悩んでいるのか、できる限り話を聞こうと心掛けています。

日本は法治国家であり、問題があればまずは法律を確認する必要があります。社会の仕組みや法律のあり方を学ぶことは生きていく中で大切なことであり、法律の枠組みの中で説明できる力を身に付けるのが法学部だと思います。また、法には絶対的な答えはなく、さまざまな選択肢からより良い方を見つけていくという曖昧さが、学問として面白いと思いますし、さまざまな分野に応用することができると思います。ぜひ興味を持っていただければ幸いです。



桑村 裕美子 教授

くむらら ゆみこ

専門分野 / 労働法



東北大学法学部で学ぶ

東北大学法学部のカリキュラム

「法政ジェネラリスト」の養成

本学部が養成しようとする「法政ジェネラリスト」とは、法学・政治学に関する正確な基礎知識とともに、幅広い視野と基礎的素養をもつ人材であり、多様化・複雑化する社会において、法曹、公務員そして企業人としてリーダーシップを発揮できる人材です。本学部では、その養成の基本となるカリキュラムを用意しています。

講義科目の3つのカテゴリー

学部の講義科目は、その内容に即して「基礎講義」「基幹講義」「展開講義」に大別されています。

「基礎講義」は、法律分野の前提知識を学ぶ「私法・公法科目」（「民法法入門」など）、法学の歴史的・思想的・社会的背景を学ぶ「基礎法科目」（「法と歴史I」など）、本格的な政治学学習の準備を図る「政治学科目」（「西洋政治思想史I」など）の3つの分野から構成されています。

「基幹講義」は、憲法をはじめとする六法を中心に、法学・政治学の根幹部分を重点的に学ぶ主要科目です。

「展開講義」は、「租税法」や「比較政治学I・II」など法学・政治学について、より深い理解とさらに豊かな知見を修得することを目的とする、先端的・学際的な科目です。

「演習」における少人数教育

さらに、以上の3つのカテゴリーの講義科目と並行して、学部4年間の全体を通して、少人数教育により各講義をフォロー

アップする「演習」が多数開設され、学部4年間の全般にわたって履修できるようになっています。演習においては、定められたテーマをめぐる討論など、学生の主体的・相互的・意欲的な学習活動によって、学びを深めます。

柔軟・自由な履修

こうした「基礎講義」「基幹講義」「展開講義」「演習」は、1年次から無理なく学習を進められるよう段階的に配置されています。その中で「基礎講義」は3つの分野から2単位ずつが選択必修とされ、幅広い基礎的素養の習得が目指されます。これに対して、「基礎講義」以外では、必修・選択必修といった縛りはなく、また特に対象学年が限定されている科目を除いては、好きな時期に履修することも認められており、それぞれの目的・関心に応じた自由で柔軟な履修が可能です。

さらに高度の学びを —— 2つのコース

法学部には、「法政ジェネラリスト」としての幅広い視野と基礎的素養の上に、より高度かつ専門的な学びを積み重ねようとする学生のために、2つのコースを開設しています。1つは、法科大学院への進学を目指す学生を想定した法曹コース、もう1つは、国際的に活躍することを目指す学生を想定した国際コースです。法曹コースは法科大学院と、国際コースは研究大学院の修士課程とそれぞれ連携して、充実した教育プログラムを提供しています。

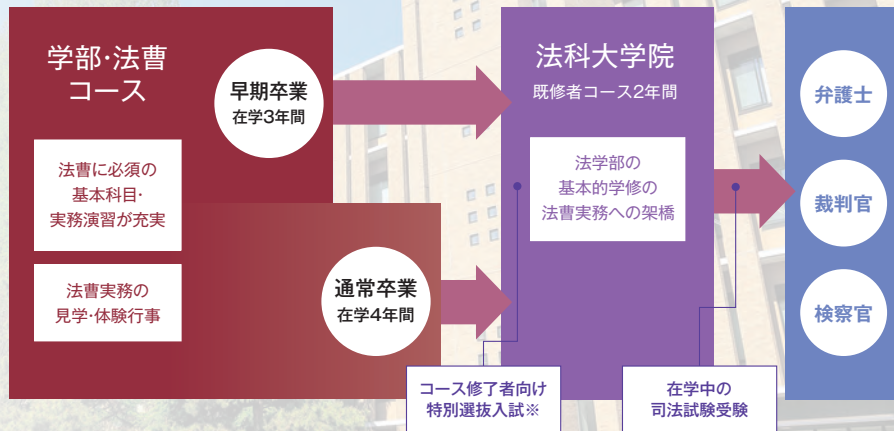
		講 義	演 習 (少人数教育)
4年次	全学教育 全学教育科目(39単位) 基盤科目 ■学問論 ■人文科学 ■社会科学 ■自然科学 ■学際科学 先端科目 ■現代素養科目 ■先端学術科目 言語科目	展開講義 *法学・政治学について、より深い理解とさらに豊かな知見を得ることを目的とし、基幹講義よりもさらに先端的・学際的な内容を学ぶ。	多彩な演習 *各講義をフォローアップする演習が多数開設される。 *充実した少人数教育によって学生の主体的な関心・意欲に基づいた教育が行われる。
3年次		基幹講義 *法学・政治学の基礎的・根幹的部分を重点的に学ぶ。	
2年次		基礎講義 *法や政治の歴史的・思想的・社会的背景を学ぶ。	
1年次			

*カリキュラムに関する記述は令和4年度のものです

法曹 コース

弁護士等の夢へ一直線

法学部・法科大学院一貫の法曹養成教育



法学部入学から最短5年で司法修習・法曹実務へ

※連携法科大学院(東北大学法科大学院)の5年一貫型特別選抜入試では、所定の成績要件等を満たして法曹コースを修了した場合、法律科目の筆記試験が免除されます。法曹コース修了者は、この他、連携・非連携法科大学院が実施する開放型特別選抜入試を受験することもできます。



法曹コースについては
文部科学省Webサイトも
参照してください。

<https://www.mext.go.jp/3plus2/>

コース
紹介

国際 コース

法学部から世界へ！

国際コースとは…

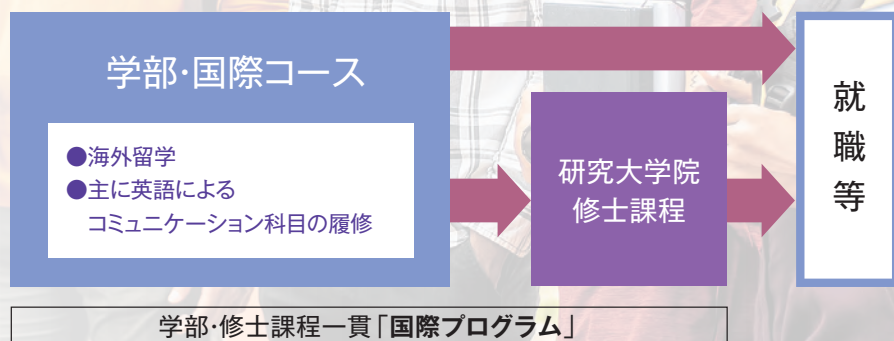
国際的な視野を備えた法政ジェネラリストを目指す法学部学生に対して、海外留学を必須とした多様な教育プログラムを提供するコースです。国際コースは、学部・修士課程を通じた教育プログラムである「国際プログラム」の中に位置づけられています。希望者は、学部の早期卒業制度と修士課程の早期修了制度を活用することにより、学部・修士課程を5年で修了することができます。

国際コース修了後の進路

国際コースを修了して学部を卒業した後は、

- 研究大学院の修士課程への進学(国際プログラム)
- その他の大学院(法科大学院、公共政策大学院、海外の大学院等)への進学
- 就職(国際的な企業、国際機関、外務省、経済産業省、JICA、JETRO等)

などの進路が想定されています。





入試情報

東北大学法学部では、主に「一般選抜入学試験(前期日程)」「AO入試(総合型選抜)Ⅱ期」「AO入試(総合型選抜)Ⅲ期」という3つの入学者選抜方法を設けています。

法学部は、良き社会の構築に寄与する知的人材の育成を理念としています。そのため、入試では、現代社会の直面する諸問題に関心を持ち、大学で養った法学的・政治学的知識と思考力を活かして、社会に貢献する意欲のある人を求めています。

AO入試では、特に、国内の地域社会からグローバル社会にわたる法的・政治的諸問題への関心を強く持ち、論理的思考力と英語能力を有する人(AO入試Ⅱ期)、現代社会に生じる法的・政治的諸問題についての幅広い関心と、法律・行政に関する実務や研究に将来携わろうとする強い意欲を持つ人(AO入試Ⅲ期)を求めています。そのため、AO入試では、書類審査の評価と面接試験が実施されます。

【募集人員】

	定員160名
一般選抜入試(前期日程)	112名
AO入試Ⅱ期	24名
AO入試Ⅲ期	24名

【入試制度の概要】

	第1次選考	第2次選考
一般選抜入試* ¹ (前期日程)	大学入学共通テスト (国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語)	個別学力試験 (国語、数学、外国語)
AO入試Ⅱ期 * ² * ³	出願書類の審査 + 筆記試験 (英文読解力、論理的思考力)	面接試験
AO入試Ⅲ期 * ²	出願書類の審査 + 大学入学共通テスト (国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語)	面接試験

*¹ 一般選抜では、「主体性評価チェックリスト」を最終段階選抜で活用します。

*² AO入試では、東北大学法学部での勉学を強く志望し、合格した場合には必ず入学することを確約できることが出願要件です。

*³ AO入試Ⅱ期では、現役であること、かつ、調査書の学習成績概評がA段階であることも出願要件となります。

【配点】

	第1次選考	第2次選考
一般選抜入試 (前期日程)	* ¹	大学入学共通テスト 450、個別学力試験 900 計 1,350
AO入試Ⅱ期	出願書類 100 + 筆記試験 900 (英文読解力、論理的思考力)	筆記試験 900、出願書類 100、 面接試験 300 計 1,300
AO入試Ⅲ期	* ² 出願書類 100 + 大学入学共通テスト 900 (国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語)	大学入学共通テスト 900、出願書類 100、 面接試験 300 計 1,300

*¹ 志願者数が募集人員を大幅に上回り、個別学力試験を適切に実施できない場合に、大学入学共通テストの成績(素点)により、選抜を実施します。

*² 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合に実施します。

【2024年度 入試日程】

	大学入学共通テスト	筆記試験	面接試験
一般選抜入試 (前期日程)	2024年1月	2024年2月25・26日	—
AO入試Ⅱ期	—	2023年11月4日	2023年11月18日
AO入試Ⅲ期	2024年1月	—	2024年2月5日

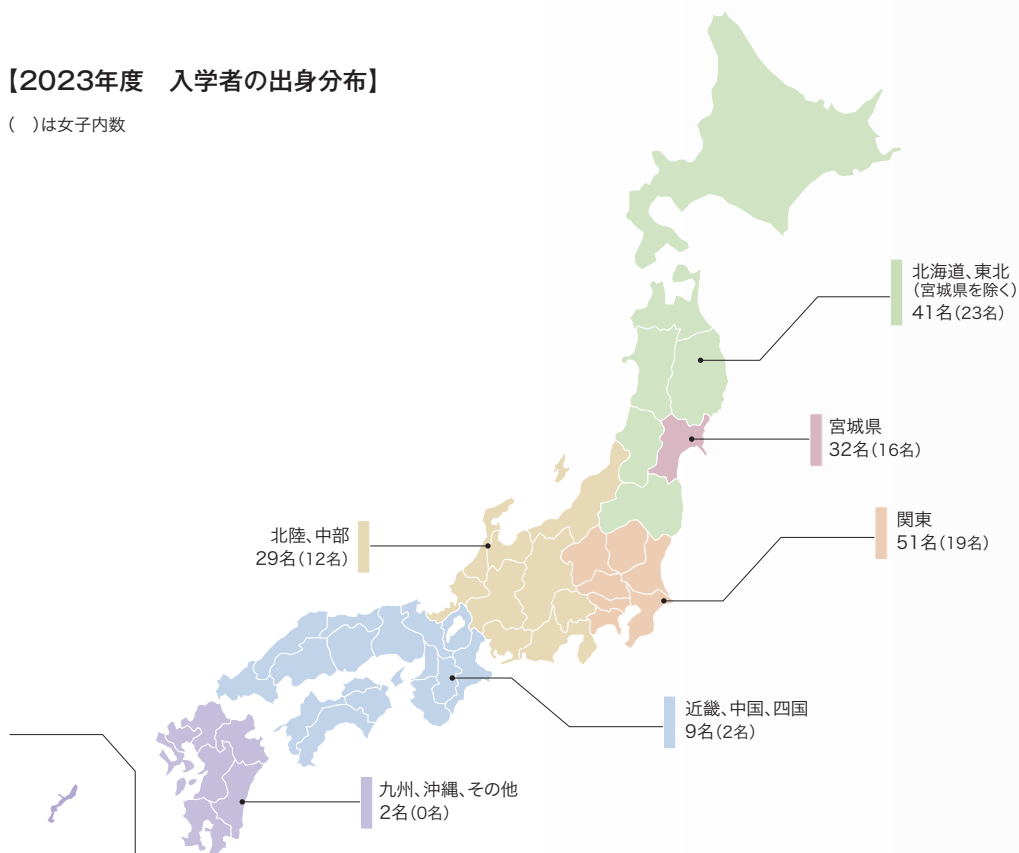
【2023年度 入試実施結果】

	定員	志願者数	第1次選考 合格者数	第2次選考 合格者数	入学者数
一般選抜入試 (前期日程)	112	285	— (実施なし)	123	115
AO入試Ⅱ期	24	77	38	24	24
AO入試Ⅲ期	24	76	36	24	24

※このほか国際バカロレア入試 入学者数1名

【2023年度 入学者の出身分布】

()は女子内数



【その他】

※最新の情報は、必ず、東北大学入試センターのウェブサイトをご確認ください。

※2024年度の入試には今後変更が生じる場合がありますこと、ご了承ください。

もっと知りたい!

東北大学法学部 ウェブサイトガイド

Q クラブやサークルについて知りたい

- ▶ [東北大学学友会・サークル](#) [検索](#)
- ▶ [東北大学法学部自主ゼミ](#) [検索](#)

大学全体の部活・サークルに加えて法学部では、「自主ゼミ」と呼ばれる独自のサークルが活発に活動しています。



学友会・サークル



法学部自主ゼミ

Q 東北大学法学部にはどのように行ったらよいですか

- ▶ [東北大学川内キャンパスマップ](#) [検索](#)

Cエリア内のC12の建物が法学部棟です。授業はC18中講義棟やC19文科系総合講義棟などでも行われます。最寄駅は仙台市営地下鉄東西線「国際センター駅」または「川内駅」です。



キャンパスマップ(川内)

Q 大学でどのような授業が行われていますか

- ▶ [東北大学シラバス](#) [検索](#)

「シラバス(講義要項)」は、大学で開講されている授業の目的や進め方、教科書などの教材に関する指示を記した計画書です。全学共通科目と法学部専門科目に分けて、それぞれシラバスが公開されています。



シラバス

Q どんな先生がいますか?

- ▶ [東北大学法学部教員紹介](#) [検索](#)

法学・政治学の様々な領域を専門とする研究者教員・実務家教員が、学生に対する教育や学術的研究のほか、専門知識を生かした社会貢献活動に取り組んでいます。



教員紹介

Q 図書館について知りたい

- ▶ [東北大学附属図書館本館](#) [検索](#)
- ▶ [東北大学法学部図書室](#) [検索](#)

法学部の学生が主に使うのは、図書(本)と一般雑誌の蔵書が豊富な附属図書館本館と、法学・政治学の専門雑誌を集めた法学部図書室です。



附属図書館本館



法学部図書室

Q 困ったときにはどんなサポートを受けられますか

- ▶ [東北大学法学部学生支援ポータル](#) [検索](#)

法学部ウェブサイト上に、大学全体・法学部の学生支援に関する情報へのポータルサイトを作成しています。



学生支援ポータル

オープンキャンパス(対面&オンライン)の情報は入試センターウェブサイトで



お問い合わせは

東北大学法学部・法学研究科

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1

TEL.022-795-6175(教務係)

ホームページ:<http://www.law.tohoku.ac.jp/>

発行日:2023年6月